

■ テーマ2 「コロナ禍・ポストコロナにおける地域の観光振興」

1. メインセッションの概要

○ 講師：海事・投資政策副大臣 エヴィ・マリア・デスウィタ・シブリアン氏

○ 発表地方政府：

[中国] 河南省洛陽市、山東省東營市、甘肅省敦煌市

[韓国] 忠清南道公州市

[アセアン] 西ジャワ州、トゥアティエン・フエ省、フートー省ベッチ市

[日本] 和歌山県

○ 事例発表等

・地方政府の事例発表では、「スマートツーリズムを通じたパンデミック後の経済回復」、「観光支出の拡大及び雇用の創出」、「インバウンド需要回復等を見据えた空港・港湾の受入体制強化等の取り組み」、「文化観光業界の回復を加速させる取り組み」、「文化の継承とスマートな観光の促進」等について発表があった。

2. サブセッションの概要

○ 講師：バンドン工科大学講師 アリヒラル・フルカン氏

○ 発表地方政府：

[中国] 陝西省西安市

[韓国] 忠清南道公州市

[アセアン] トゥアティエン・フエ省

[日本] 奈良県

[関係機関等] 東アジア・アセアン経済研究センター

○ 事例発表等

・地方政府の事例発表では、「感染予防と制御及び文化と観光の融合」、「ウェルネスツーリズムの可能性、現実及び解決策」、「持続可能な観光」等について発表があった。

・奈良県からは、平田観光局長が、奈良県の観光の現状と課題について説明した後、ポストコロナを見据えた観光プロモーションの強化や本年12月に日本で初めて奈良県で開催を予定している UNWTO ガストロノミーツーリズム世界フォーラム、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」世界遺産登録に向けた取組等奈良県のコロナ禍・ポストコロナにおける観光振興の取組について事例発表を行った。

・意見交換では、藻谷浩介氏より、「アジアは欧米に比べて、距離が近い上に市場の規模が大きいという利点があるため、ポストコロナに向けてその利点を活用していくべきではないか」等のスピーチがあり、各地方政府より「各地域の観光の状況を考慮し、持続可能な観光を目標として、その戦略を応用していきたい」等の意見があった。